

四国

No.2 10.11.12

2016.第96号／平成28年12月1日発行



We Serve

The International Association
Of Lions Clubs



336-A地区 2016～2017年度 ガバナースローガン

100周年、夢と誇り・笑顔と絆で We Serve

ガバナーキーワード

挑む



公式訪問に挑む

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
地区ガバナー 真鍋 隆

真夏の陽射しが照りつける猛暑の8月より、地元の5リジョンからスタートしたガバナー公式訪問でしたが、各リジョンのRC・ZC・地区委員さん、そして会員の皆様の心温まるお心遣い、歓迎にキャビネットを代表して心より御礼、感謝を申し上げます。

公式訪問時、今年度はライオンズクラブ国際協会が100周年を迎える大きな節目の年です。しかし、地方ではまだまだ経済状況が上向きでなく、そのうえ今後ますます少子高齢化が進むと予想されています。ライオンズクラブを取り巻く環境も厳しいものがあります。しかし、「今こそクラブは伝統や先人のレガシーを尊ぶと共に、次の10年先を考えてメンバー全員が、崇高な精神、誇りを胸に抱き、知恵とアイデアを出し、改革元年の気持ちと次世代への貢献を考えて真剣に取り組みましょう。」そして、会長を中心として「武士の魂（命懸けと潔さ）の精神を強く持ち、一歩ずつ時代にあつた運営や奉仕活動に挑んで欲しい。」と働きかけ、「ガバナーやキャビネットは金メダルはいらない!!単一クラブが金メダルを取って欲しいと願っています。」と訴えさせて頂きました。

具体的な話として、例会運営面では「例会時間は、どこにも一時間半とか一時間15分とか必携に書いていない。慣習であり、クラブが判断すれば良い」等、今後の在り方をクラブで充分議論して進めてください。また、会員増強については、質の高い新会員の獲得、特に若い会員と女性会員を必ず招請入会し、各クラブが純増3名を目標としてください。会員が増えればより多くの奉仕ができ、新しい血がクラブの活性化に繋がる。（会員が一人増えればその地域



の50人の新たな人達に奉仕できる)そして、次の100年に向かっては「家族と共に奉仕しよう」と子会員(2人目以降の家族会員)プログラムについて説明をさせていただきました。10月3日付のガバナーメッセージを参照してください。そして、「LCIF、MJFで世界にも奉仕しよう!!」という事で単一クラブはMJFを含め、会員1人平均50ドル以上を目標にしていることをお伝えしました。3361A地区には、275,000ドルを献金するよう伝達されています。

以上のようなことを地区ガバナーとして要望させていただきましたが、最終判断はクラブで考え、クラブの実情に合わせた方法で楽しい例会、笑顔でクラブの絆、メンバーの絆、家族の絆で奉仕し、100年の歴史あるライオンズクラブに誇りを持って、次の100年に向かって大きな夢を抱き進んで欲しいと心から願っています。また、会長さんとの熱の入った意見交換は大変良い思い出になりました。

結びに、会員皆様方のご支援、ご協力のおかげでこんぴらキャビネットの運営も約半年が経過し、会員増強も11月末現在で純増186名(内、子会員34名増)です。地区役員、地区委員、クラブ会長さんのリーダーシップと情熱に本当に感謝し、感激をしています。日本の準地区35地区で4ヶ月連続トップとは驚きですが、四国の会員の元気を日本中に、更には世界へと広げていきましよう。こんぴらキャビネットは、皆様方のクラブに寄り添うキャビネットです。今後どうぞよろしくお願い致します。私自身、命懸けで頑張ります。

ライオンズクラブの会員は、心配り、心遣い、相手を思いやる気持ちを持った、心豊かな人が多く、ライオンズクラブの活動を通して人間磨きをしなければと感じた各リジョンへの公式訪問でした。本当にありがとうございました。

あとから来る者のために

あとから来る者のために

田畑を耕し

種を用意しておくのだ

山を

川を

海を

きれいにしておくのだ

ああ

あとから来る者のために

苦勞をし

我慢をし

みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる

あの可愛い者たちのために

みなそれぞれ自分にできる

なにかをしてゆくのだ

※ガバナー公式訪問で「次世代への貢献」の意味で読んだ坂村真民(戦後に愛媛県で教員をし、砥部町に定住した詩人)の詩です。「念ずれば花ひらく」が代表作。



Contents

- 表紙2 地区ガバナー所感
- 2 各リジョン ガバナー公式訪問
- 11 YCE こんぴらサマーキャンプ
- 16 周年レポート
- 21 委員会報告
- 22 ライオンズクエスト
- 28 特別寄稿
- 30 クラブレポート/環境保全・保健福祉アクティビティ
- 32 会員現況
- 表紙3 物故会員
- 表紙4 第63回地区年次大会ご案内

表紙題字揮毫: 山野 象東氏
表紙写真提供: 高岡 仁氏

地区ガバナー公式訪問

1R

日時・9月11日(日)

午前9時30分～午前の部
午後2時～ 午後の部

1R-RC 村井 淳子

場所・いよてつ会館

地区ガバナー公式訪問を終えて

1Rの地区ガバナー公式訪問が去る9月11日(日)いよてつ会館に於いて開催され、真鍋地区ガバナー、川辺第1副地区ガバナー、関野第2副地区ガバナー、近兼幹事、藤田会計、三谷元地区ガバナー・地区名誉顧問・LCIFコーディネーター、岡崎GMT・GLT・FWT会則委員長、こんぴらキャビネット7名、地区役員やクラブ役員など総勢114名が参加。

式典は、参加者全員のスタンディングオベーションの中、ガバナーを先頭にキャビネット役員の入場で始まり、公式訪問を楽しみにしていた会員たちは笑顔の花でいっぱい。それに対してガバナーは包み込むように満面の笑みで答えておられました。

進行は、地区名誉顧問の激励のあと、真鍋ガバナーが「私は歴史が好き、歴史上の武将のように命がけと潔さで頑張ります。その頑張りが次

世代への貢献になればと思っています。百周年に向かってお互いに頑張らしましょう」と挨拶。会員の皆さんは全員でOKサイン。続いてガバナーからバナー・バッチが会長一人ひとりに贈呈されました。RCより御礼の花束を贈呈させて頂きました。その際の花束を胸に少しはにかんだお顔は満足感にあふれておられたようでした。

後半は、恒例の地区ガバナー進行の各クラブ会長の目標と抱負の発表です。会長から会員増強やアクティビティなど発表があると、ガバナーは細やかに答えられました。驚いたのは、ガバナーは前もって各クラブの回答書に目を通され具体的にコメントされたことです。ライオンズクラブに入会し、リーダーとして仕事と奉仕を両立させている日々が報われたと思った人もおられることでしょう。見事なガバナー対応です。若きリーダー・真鍋地区ガバナーの

2016～2017年度

言葉や実践は私たちのモチベーションの高揚と時間の充実を感じさせてくれました。参加者全員の皆さんに感謝申し上げます。





2R

日時・9月3日(土) 午後1時より
場所・新居浜市 ユアーズ

2R-RC 河端 寛

残暑が厳しい9月3日2R地区ガバナー公式訪問が開催されました。真鍋隆地区ガバナーをはじめ川辺信郎第一副地区ガバナー、関野邦夫第二副地区ガバナー以下総勢9名のキャビネットの皆様と2Rの地区役員16名及び17クラブの第一副会長、会員委員長を含む5役の85名で総勢110名にて開式となりました。

2RC河端の先導で盛大な拍手の中、入場し真鍋隆地区ガバナー以下キャビネット幹部が整列され、いよいよ式典がはじまりました。

菅公逸2R-RC Aの司会により、公式訪問恒例の式次第で進行し、真鍋地区ガバナーの挨拶では「今年度は、ライオンズクラブ国際協会が100周年を迎え、大きな節目の時にあたり、誇りと勇気を持ってキャビネット構成員のお知恵を借りながらA地区運営に当たりたい。」という言葉をいただきました。その後川辺信郎第一副地区ガバナー、関野邦夫第二副地区ガバナーの御挨拶をいただき、マイクは近兼聖弘キャビネット幹事にお渡しし、要望事項並

びに質疑応答が20分程あり、休憩をはさんで地区コーディネータ及び各地区委員長、各2R地区委員からの要望がありました。今回の地区ガバナー公式訪問における式次第を予めキャビネットへ問い合わせたところ、地区ガバナーより直接のお電話があり各クラブ会長の今年度の目標と抱負に一時間はとってほしいとの事でした。

2R17クラブの会長一人一人から質問に対する回答がありました。会長スローガンや奉仕事業の会長説明に対し、真鍋隆地区ガバナーから一つ一つ誠に丁寧な説明とアドバイスがありました。2Rだけでも17クラブがあり地区ガバナーからの質問事項が30項目に恒りその回答書を読み問題点と改善点をピックアップして一クラブずつお話しされるという事は並大抵の仕事ではないと思われま

最後になりましたが2Rのクラブの皆様と地区ガバナーをはじめキャビネットの皆様へ感謝し、御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。



3R

日時・9月10日(土)
場所・宇和島市 JAえひめ南イターナルホール

3R-RC 西崎 政吉

地区ガバナー公式訪問を終えて

好天に恵まれた9月10日(土)、宇和島市のJAえひめ南イターナルホールにおいて3Rの地区ガバナー公式訪問を開催した。出席者は、各クラブ役員、キャビネット役員、3Rの地区役員・委員など総勢80名となった。

まず真鍋隆地区ガバナー、川辺信郎第一副地区ガバナー、関野邦夫第二副地区ガバナー、近兼聖弘キャビネット幹事、藤田賢慈キャビネット会計の入場から始まり、参加者全員が起立し盛大な拍手でお迎えした。

会合は、出席者紹介の後、3RCより歓迎の挨拶、西園寺名誉顧問から真鍋ガバナーへ激励の言葉、続いて、真鍋ガバナー並びに第一、第二副地区ガバナーからの挨拶という順でスムーズに進行した。その後、真鍋ガバナーより、公式訪問記念品として、各クラブ会長一人一人に地元コンぴらをイメージしたオリジナルデザインのパナーが贈られた。

キャビネットからの要望事項で

は、会員増強、LCIF一人50ドル献金、クラブ支部作り、地区年次大会200名参加、HPの変更及び有効活用などの依頼があった。

各クラブ会長の目標と抱負では、どのクラブも会員増強には特に力を入れており、3R全体では47名の増員目標となっている。また、他クラブとの交流など交流会への積極的参加、卓話などを取り入れた例会の充実や例会出席率の向上、会報誌などによるPRの強化、家族会の充実など、クラブを良くしたいという前向きな発言が多く、会長の並々ならぬ意気込み、熱意が感じ取れる内容だった。

また、真鍋ガバナーからは、クラブの資質の向上、10年後、20年後を見据えたクラブづくり、家族参加の奉仕活動、女性会員の増強、HPの積極的活用などの助言を頂き、長時間に亘っての公式訪問を終了した。今回ご参加の皆様、大変お疲れ様でした。





4R

日時・8月7日(日) 午後2時より
場所・高松国際ホテル

4R-RC 田村 雅宥

地区ガバナー公式訪問

4R地区ガバナー公式訪問が8月7日、高松国際ホテルに於いて真鍋地区ガバナーはじめ、こんびらキャビネット皆さま10名と4R地区役員及び4R23クラブ役員関係者で盛大に挙行された。

開会5分前に、国旗の両脇には国際会長テーマ「次なる山を目指して」真鍋地区ガバナーの「100周年、夢と誇り、笑顔と絆でWe Serve」のスローガンが掲げられ、23クラブ旗が並列されている会場へRCの案内で真鍋地区ガバナー、川辺第一副地区ガバナー、関野第二副地区ガバナー、近兼地区キャビネット幹事、藤田キャビネット会計が参加者全員の盛大な拍手で迎えられ入場されました。

真鍋地区ガバナーのWe Serviceで一礼され席につかれた。

西崎(小豆島LC)の司会進行により開会ゴング歓迎の挨拶で始まり松前龍宗FWTエリアーダーより激励の言葉を頂き真鍋地区ガバナーより、今年は100周年記念

の年であり単一クラブでは会長中心

として、武士の魂(命懸けと潔さ)

の精神で運営や奉仕活動等、新しい

ことに「挑む」気持ちを強く持ち一

年間改革に努力してほしいと説明が

あり特に会員増強純増三名、なかで

も若い会員を入会させて次の世代を

担う人材を育てていこう、又家族会

員、女性会員の増強をし、家族と共に

奉仕活動をしようと強調されま

した。続いて川辺第一副地区ガバ

ナー、関野第二副地区ガバナーより

挨拶を頂きました。要望事項並び

に質疑応答について真鍋地区ガバ

ナー、近兼地区キャビネット幹事、

藤田キャビネット会計三役の対応に

感銘致しました。

山地GMT・GLTコーディネー

ターより会員増強が、なぜ必要かに

ついて詳しく説明され、各クラブの

会長はじめ参加者の皆様にもご理解

頂けたと思います。引き続き会長の

今年度の目標と抱負が述べられ終る

こととなりました。その後、懇親会

は、石川地区名誉顧問の乾杯で始ま



り、楽しく懇親の場であったと思います。
長時間にわたる会議、懇親会まで参加頂いた皆さま、地区ガバナーをはじめキャビネット、準備に協力いただいた関係者の方々に心からありがたく厚くお礼を申し上げます。



5R

日時・8月6日(土)
場所・まなべ結婚式場

5RCアシストグループ 三井 賢

「336-A地区・5R ガバナー公式訪問」をアシストして

8月6日、酷暑の広島平和記念日：。「まなべ結婚式場」にて、ガバナー公式訪問のホストクラブとして、我が多度津LCが取り仕切るこ
ととなった。何故：かという、内
海Lが、5Rリジョン・チェアパー
ソンの大役に就任したからである。

さてさて、『5Rリジョン・チェア
パーソン』とは何たる役職かと思
うに336-A地区を江戸幕府に例
えれば、老中お目付役というところ
か、会社組織に例えれば、取締役相
談役というところか？お目付役は、
こんぴらLC真鍋ガバナーの為なら
と人肌脱いで、大好きなゴルフも晩
酌も封印して、例会訪問やら、〇〇
会議やらと西に東に、大忙しの日々
を送っている次第である。

その余波で、我らアシスト軍団
も、準備・受付・接待とこれまた、
猪突猛進走りまくりの日々！お陰様
で、他クラブの皆さんとお知り合い
にもなれるし、食事も出来るし、酒

も飲めるし：ライオンズクラブとは
何たるものかと少しづつ、理解出来
てきたようで：。

だけど、吾輩は、未だライオンズ
の名刺も持っていないんだぞ：と独り
言。

老中お目付役曰く、
「スピーチは、短い程良い！」
「今日も1日元気で楽しければ、い
いんだよ!!」
「タバコなんて、還暦過ぎたら、バ
カスカ吸っていいんだよ！」
：と、酒を美味そうに飲みまくり
ワッハッハと笑い飛ばす。

すっかりペースにさせられた我ら
アシスト軍団は、「日々これまた楽
しからずや」：と、その任務に邁進
する今日この頃なのである。

そうだ！

今年のガバナーキーワードは、
『挑む』なのだ。





6R

6R-RC 和田 富雄

日時・8月20日(土) 公式訪問 午後1時～4時30分
懇親会 午後4時45分～6時15分
場所・三翠園

地区ガバナー公式訪問の一日

6R地区ガバナー公式訪問は、8月20日(土)三翠園に於いて、開催しました。開会5分前、RCの先導により、入場テーマソングが流れるなか、真鍋地区ガバナーを先頭に、こんびらキャビネット役員4名が入場され、参加者90名は会場が割れんばかりの拍手でお出迎えをいたしました。

司会進行は、小松英男1ZCにお願いをいたしまして、開会宣言・開会ゴングに続き、公式訪問恒例の式次第に沿って進行しました。激励の挨拶を橋本充好前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長・三谷元地区ガバナー地区名誉顧問・LCIFコーディネーターからいただきました。そして真鍋地区ガバナーより、ガバナースローガン「100周年、夢と誇り・笑顔と絆でWe Serve」ガバナーキーワード「挑む」についてのお話をいただきました。そのなかで、感銘したの

動に、新しいことに「挑む」気持ちを強く持ち1年間、クラブ運営の改革に努力してくださいという言葉でした。そして要望事項並びに質疑応答に移り、クラブ会長からの質問等では、地区ガバナー・キャビネット幹事・キャビネット会計が、丁寧・明確に回答を頂いた事も大変感激いたしました。

会議終了後には、おもてなしの心で懇親会を開催いたしました。6Rでは、当日9時30分からゾーンレベル会員委員会(1・2・3Z合同)引き続き各ゾーン別第1回地区ガバナー諮問委員会を開催しました。同日開催は、ライオンズ活動日数の簡素化を計りました。長時間になりましたが、懇親会には元氣を取り戻し楽しく土佐のおしゃくができました。本日の会にあたり、6R17クラブの会員の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。今後とも何卒宜しくお願いいたします。



7R

日時・8月21日(日)
場所・高知プリンスホテル

7R-RC 東條 節子

100周年 篤志のご訪問

酷暑の八月二十一日(日)午後、7Rのガバナー公式訪問が高知プリンスホテルで挙行されました。7R・16LCのクラブ旗が整然と並んでおります。橋本充好地区名誉顧問会議長・三谷智省地区名誉顧問・長谷川憲男地区名誉顧問のご出席を頂きました。ZC・地区委員・クラブ役員達八十余名の出席です。RCの案内でガバナーお氣に入りの曲、「風が吹いている」の流れる中を真鍋隆ガバナーを先頭にキャビネット一行が盛大な拍手に迎えられてご入場です。正面に並ばれ一礼の後ご着席。一〇〇周年記念の年にRCを努める重責と幸せを思うと共に公式訪問はリジョンにとって最大の行事と捉え緊張で心は高揚するばかり……。

式次第により開会宣言・開会ゴング・歓迎の挨拶を無事に努め、少し安堵です。順次進行し、ご出席の皆様より各々の立場からのご挨拶やお言葉を頂戴いたしました。ガバナーの運営基本方針については全員

が地区誌を持参しておりそれに基づき順を追って説明をされました。判り易かったと思います。「挑む」について武士の魂の精神・意気込みで未来を見据えて改革の気持ちを強く持ち、運営・奉仕活動に努力して欲しい旨を、柔和なお顔をキリッとされて述べられた場面では、強い決意を感じ、印象に残っております。続いて各クラブ会長が自クラブの現状と本年度の抱負・事業内容など凝縮された意見を明快に発表するとガバナーは各会長の発言に真摯に対応され長時間着座されることもないお姿に感動でした。

式は予定通り進行し、閉会ゴングの後は記念写真を撮り、高知では省けない懇親会に移りました。一同笑顔の交流でこの雰囲気だと会員増強・LCIFの目標達成も夢に終わらせないと誓い合えたのではと期待しております。キャビネットの皆様暑い中を誠にお疲れさまでした。7Rの出席の皆様ご協力ありがとうございました。





8R

日時・8月27日(土)
場所・阿波観光ホテル

8R-RC 津川 旭

8Rガバナー公式訪問を終えて

8月27日(土)、阿波観光ホテルにおいて午後1時より8R地区ガバナー公式訪問が8R-RCの開会ゴングで始まる。8R-RCが14クラブを代表して歓迎の挨拶を述べ、その後に木内千春元地区ガバナー地区名誉顧問が、真鍋ガバナーは気力、体力もあり本当に信頼出来る人であるが、14クラブの支援、協力が不可欠であると述べられた。真鍋ガバナーからは、今年度ライオンズクラブ国際協会は100周年を迎えます。大きな節目の時にガバナー就任という幸せと責任の重さを感じていますが、「誇りと勇氣」を持って地区の運営に精進されとのことでした。

ガバナーからの要望事項では、ガバナーである私自身はもちろん皆様方も1年間がそれぞれの任期であり、各々が新しいことに「挑む」気持ちを持ってもち1年間改革に努力してくださいとのことでした。ガバナーは27歳の若さで入会し、「立

場」(役職)は人を育てる」という言葉をモットーとして次々と要職をこなされガバナーに就任しました。続いて第一副地区ガバナーの川辺信郎様。第二副地区ガバナーの関野郁夫様が挨拶され、その後の真鍋ガバナーより各クラブ会長に公式訪問の記念品が贈られた。GMTコーディネーターの山地章靖地区名誉顧問から各クラブは退会防止に努め純増3名を達成してほしい要望、LCIFコーディネーターの三谷智省地区名誉顧問からは一人50ドルの献金をお願いしたいとの要望でした。休憩後の「各クラブの今年度の目標と抱負」では、各クラブ会長の熱心な発表により予定時間を大幅にオーバー

しましたが、その間ずっと立ったままで耳を傾けられていてすごい体力と熱意が伝わってきました。最後の懇親会では絆を深め楽しい一時間を過ごすことが出来ましたキャビネットの皆様お疲れさまでした。有難うございました。出席総人数75名。



9R

日時・8月28日(日)
場所・阿波観光ホテル

9R-RC 安田 勝代

9R 地区ガバナー公式訪問を終えて

地区ガバナー公式訪問が8月28日(日)残暑の厳しい中、阿波観光ホテルに於いて開催されました。前日の27日に8Rの公式訪問が開催され、ガバナー御一行様は宿泊されるとの事で8Rの公式訪問終了後に地区役員・地区委員が出席して歓迎会をいたしました。真鍋地区ガバナー始め、キャビネットの皆様と身近で親しく接することが出来、カラオケでデュエットをしたりして懇親を深める事が出来ました。

当日は11時に会場入りして最後のチェックとリハーサルを行い、13時の開会に臨みました。開会と同時に、9R-RCの先導により、真鍋地区ガバナー、川辺第一副地区ガバナー、関野第二副地区ガバナー、近兼キャビネット幹事、藤田キャビネット会計の入場行進が行われました。お持ち頂いた、「いきものがかり」の「風が吹いている」の軽快な音楽に合わせて、笑顔で元気な行進に会場はスタンディングオベーション

ンで大いに盛り上がりました。そして、全員着席の後、RCの開会ゴングにより開会致しました。ZCによる出席者の紹介に続いて、RC安田が歓迎の挨拶を申し上げました。木内千春地区名誉顧問より激励の言葉を頂き、いよいよ六十歳の若き真鍋ガバナーの御挨拶です。「ガバナーもキャビネットも金メダルは要りません。各クラブが主役ですから金メダルを取ってください。また、次世代への貢献を目標に取り組んでください。」との事でした。

記念品のバナーが各会長に手渡され、その後の各クラブ会長の目標と抱負の発表に対し丁寧に応答を頂きました。あまりの熱心さで、時間が足りない程でした。閉会の後、和気藹々と懇親会を行いました。キャビネットの皆様、徳島での二日間お疲れ様でした。有難う御座いました。



2016
2017
年度

YCEこんぴらサマーキャンプ



こんぴらサマーキャンプ日程

7月22日(金)

- 開村式
- 金刀比羅宮参拝
- 国営讃岐まんのう公園
- 西城紫水高校

7月23日(土)

- 料理コンテスト
- 広島平和公園
- キャンプファイヤー
- 閉村式

7月24日(日)

- 金刀比羅宮参拝
- 西城紫水高校

7月25日(月)

- 料理コンテスト
- 広島平和公園
- キャンプファイヤー
- 閉村式



2016～2017年度こんぴらサマーキャンプを7月22日～25日まで国営讃岐まんのう公園内キャンプ場で開催。初めに、まなべ結婚式場で真鍋隆地区ガバナー、近兼聖弘キャビネット幹事、藤田賢慈キャビネット会計他各委員4名、三宅富男キャビネット事務局次長、大岡豊キャビネット副幹事他4名、長尾和彦IT特別委員長、白土圭志2015～2016年度YCE・国際関係委員長、市村道夫2015～2016年度ライオンズ特別委員長、白川勝、内海孝ホストファミリー、各リジョンYCE・国際関係・ライオンズレオ委員6名、YCE来日生イタリあのジュディッタリニイ、フランチェスカサルミ、台湾からラン・ウォンリン、ジャン・ヤンチン、チェン・シンヤ、カオ・アイ・シン、の5名、鴨島レオクラブ会長後藤賢太君、幹事田岡若葉さん、遠藤千夏さん、琴平高等学校鈴木あゆみさん、久保妃菜さん、大谷航太君、香川菜月さん、川之江ライオンズクラブ社会福祉委員会福祉委員長大畑利恵様大畑陸君、宇和から2014～2015年度3Rリジョンチェアパーソン大氣新平様を初め、多くの方参加で、開村式を行い、真鍋隆地区ガバナーから開村の挨拶、「派遣・受入を

終了して終わるものではなく、生涯に亘る国際交流にも繋がり、その目的である国際間の相互理解と親善の増進に多大な貢献をしています。来日生がライオンズクラブの奉仕活動について学ぶとともに、広く地域社会にPRし、青少年の奉仕の精神の芽を育てています。未来を担う青少年達に国際的な視野を広げ、成長出来る機会を与えるのが目的です。」と挨拶されました。

続いて、出席者の紹介、委員長の挨拶、来日生の紹介、記念品の贈呈をし、キャンプのオリエンテーションをレクリエーション委員の篠原正旭さんより、キャンプの説明がありました。当日は真夏の炎天下の中でのキャンプがあり、台湾の来日生も日本の夏は暑いと言っておりましたが、我々の方の体力が心配でしたが、初めの予定通り台湾班、イタリア班に分かれてマルナカへ食材の買い出しに行き、何を買うのか見ておりましたら、イタリア班はスパゲッティの食材類を、台湾班は親鳥の肉を小さくカットしたものとごま油、生姜を買っていました。それぞれの食材は、23日の夕食の料理コンテストに使用する食材ですが、果たしてどんな料理ができるのか楽しみにしております。

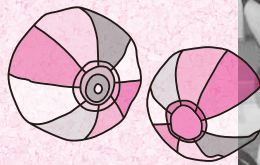
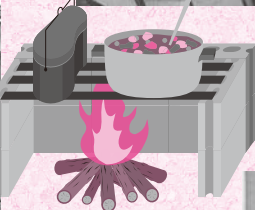
YCE・国際関係・ライオンズレオ委員長 大島 竹雄



初日

22日の夕食は飯合炊飯でご飯を炊き、カレーライスを来日生、参加者が協力し合っての作業でしたが、イタリアのジュディタリニイ、フランチエスカサレミ達のじゃがいもの皮の剥き方にも文化の違いを感じましたが、カレーライスが出来上がり、野菜サラダも準備が出来、参加者がそれぞれ自分に合った分量を食べていました。中でも、台湾のジャン・ヤンチンは大変大食でカレーを最後まで食べていました。デザートは近兼幹事の計らいでスイカを用意していただきました。スイカは全部食べ切れなく、キャビンの方に持ち帰り、冷蔵庫に一時入れておくと、まだスイカ有りますか、と言いながら食べていました。食事も終わり、天文台観測を準備していただき、観測北斗七星等の説明を受け、参加者が星に見入っていました。キャビンはお風呂なしタイプを用意し、公園内の公衆浴場を利用する予定でしたが、20時までとのことで、浴場が利用できず、グループキャビン内の風呂を使用する事となり、参加者が順番に入浴し、またまた途中から湯が出なくなり、水でのシャワーとなり、夏とは言え、少し寒かったです。これも後に気が付き、ボイラーのスイッチが別のところにあり、スイッチを入れるとお湯が出てきました。参加者の皆様に大変迷惑をおかけしました事を本文を借りまして、お断りしておきます。風呂に入る時間が長時間になり、ライオンズ関係の方とグループキャビンで反省会をしていたところに琴平高校の参加者に、キャビンの中のベッドをそのまま占領されてしまいました。反省会の中、風呂付のキャビンを用意しておく方が良かったと反省しましたが、あとの祭りとなり、反省しきりとなりました。

時間も経ち、それぞれが薄いマット、シュラフを敷き、寝ようしますが中々寝ることができません。となりで副幹事のこんぴらライオンズクラブの鉄川さん、横になるとなんと1分もしないうちにイビキを。なんとも羨ましいことしきりでした。





来日生の子たちは出来上がったものを見て、感動し、自分でも作り方を教えてもらいながら、作っていました。おやつはアイスクリーム作りに挑戦しました。缶の中に糖質が多く入った牛乳を入れ、氷を入れた少し大きめの缶の中に入れ、蓋をしてコロコロ廻したり、上下に振ってアイスが出来るまで交代で作っていました。氷が少し少なかったため、全部のグループでは充分でませんでした。出来たグループのアイスをみんなで分け、自分たちで作ったものを堪能しました。

時間の経つのも早く、参加者も少し慣れてきて、スムーズに昼食も終わり、いよいよ夕食の料理コンテストの準備です。イタリア班、台湾班は22日に買っていた材料をもとに各班リーダーのもと料理が始まりました。イタリア班は大きい鍋で湯を沸かしますが、中々沸いてきません。待っている間は時間がなかなか経た



ず、まだかな？まだかな？と何度も鍋の蓋を開けていました。お湯が沸いて、スパゲッティを半分折って湯の中に入れていきました。スパゲッティも茹で上がり、少し大きめのボールに取り、トマトケチャップを入れ、味見をしてまたケチャップを入れ、OK。また、台湾班は鉄板を用意して、鉄板の上にごま油と生姜を薄く切ったものを入れ、少し油になじませて用紙していた親鳥の切り身を入れ、油で炒めていました。また、レクリエーション委員の小山さんもキャンプに加わり、ダッチオーブン料理作り始めました。私はダッチオーブン料理が初めてでしたが、蓋のついた縦長の土鍋の中にいろいろな野菜、肉、きのこ等を入れ、土鍋の下と上に焚き火を使い、素材の力を引き出す魔法の鍋でした。

各班の料理が出来上がり、参加者がそれぞれの料理の食べ比べをした結果、両者引き分けとなりました。又、台湾の来日生は、ご飯の上に鶏を炒めたときに作ったスープをかけて食べていました。参加者全員、満腹になりましたが、今夜はキャンプファイヤーを予定しており、小山、篠原レクリエーション委員の指導のもとキャンプファイヤーの点火式を委員長が行い、天下とともに大きく燃え上がる炎に参加者、一般参加者も拍手。今度は小山委員のセレモニー。炎に向かって、参加者を先導してくれました。来日生、一般参加者の皆様は元氣いっぱい色々なゲーム等を交えながら楽しんでいました。私と副幹事の森さんは若い人達には身体がついていけないので後に下がって見学をしていました。今

夜は昨夜の失敗を繰り返さないよう、風呂の時間を取り、グループキャビンの方に女性たち、一般風呂に男性と、分かれて入りました。結果は満足され、各自キャビンに戻り、また来日生、琴平高校からの参加者、鴨島レオクラブの参加者がグループキャビンの方に集まって、日本語、英語、中国語で交流を深めています。今回のキャンプに私の娘優季も通訳として参加をしていて、来日生の特にイタリアの2人とよく話をしていました。夜遅くまで自国の話がつきませんが、私たちが反省会に名を借りて、ビール等をライオンズ関係の泊り担当の方の労をねぎらう意味でも反省、反省で夜が更けるのも忘れていました。





3日目



24日の朝食はホットドックパンの中にウィンナー等を入れ、アルミホイルで包んで牛乳の空パックに入れ、パックの上に火を付け、下まで燃えるのを待ち、火が消えてからアルミホイルを開けると少し焦げているのもあり、アルミホイルを2重にしてみるところまで出来ていました。食べてみると中々美味しいです。朝食も済み、個人の荷物を出し、キャンピング内の清掃。森副幹事が夜に使用した枕、シユラフ等数量のチェック、また忘れ物がないか確認、「立つ鳥跡を濁さず」で最後まで気を抜けない時間が過ぎ去りました。人数もそろったところで、真鍋ガバナールのご厚意で、マイクロバスを準備、ガバナール自ら運転をしていただき、金毘羅宮参拝。来日生、森副幹事が汗だくで参拝。全員無事元の場所に帰路。香川に来たら必ず食べるといううどんで昼食です。元祖しょうゆうどん小縣家でこしの有るうどんに大根おろしをかけて、堪能しました。来日生はおそらくうどんに大根おろしをかけてポン酢、しょう油をかけて食べるのは初めてではないかと思えます。夏の暑い時に食べるしょう油うどんはまた格別だったと思います。



おなががいっぱいで庄原に移動。バスに乗り3時間くらいの移動で来日生もレオクラブの後藤田君も皆爆睡。そんな中、かんぽの郷庄原に到着。皆温泉に入り、西城紫水高校神楽部のかぐら舞の鑑賞。演目については、

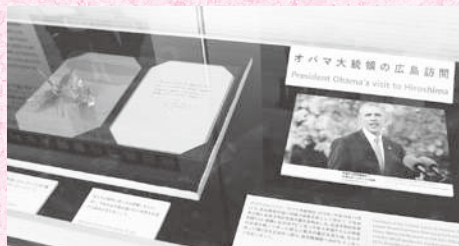
1、大蛇退治（おろちたいじ）
2、大国主命の舞

（おおくにぬしのみことのま）

を生徒が英語を交えて団体、演目を紹介してくれました。また、大国主命の舞の終盤に福餅まきが行われ、舞の終了後、大蛇に触れたり、写真を撮影したりしておりました。神楽部員6名、顧問2名、西城町神楽愛好会8名の協力をいただき、一生懸命演じた神楽を見ていただいたことや、他校の生徒との交流という貴重な体験ができたことに生徒一同が大変喜んでおります。西城紫水高校神楽部顧問の梅田佳宏様からメールもいただきました。また、夕食のときには生徒の皆様と来日生、鴨島レオクラブ、琴平高校の子供たちは心を打ちとけて、交流をしていました。

こんぴらライオンズクラブの姉妹クラブである庄原ライオンズクラブの有志のご参加もあり盛り上がった交流会でした。





いよいよ最終日。広島平和公園に広島平和記念資料館を見学。昭和20年8月6日午前8時15分、広島は世界で初めて原子爆弾による被害を受け、町はほとんどが破壊され、多くの人々の生命が奪われ、かろうじて生き残った人も、心と体に大きな痛手を受け、多くの被爆者が今も苦しんでいると聞いて大変悲しいことだと二度と核兵器のない平和な社会を実現しなければと言っていました。また、アメリカのバラク・オバマ大統領が5月27日に初の被爆地訪問を果たし、核兵器の廃絶を訴えて演説を行い、折り鶴を4羽折った内、2羽を出迎えた小・中学生に手渡し、残りの2羽は直筆のメッセージに添えて、そっと置いたのを来日生たちも見えていきました。

平和公園を後に、広島名物のお好み焼きを食べに行きました。少し早く着きましたが、店内は満席。それでもなんとか名物お好み焼きを食べました。イタリアのイリニイカサルミが少し残していましたが、台湾のチンに食べなさいという全部食べ切りました。食事のあと、近くのドン・キホーテで皆買い物がしたいというので行きました。くれぐれも時間に遅れないようにと、結果、台湾2名が遅れ、探しに行きようやくバスに集合、なんとか無事に閉村式の会場であるまなべ結婚式場に帰ってきました。

閉村式にあたり、来日短期留学生たちが異口同音に「まだ帰りたくない。」と言ってくれ、メンバー一同、その言葉で疲れが吹っ飛びました。また、地元の琴平高校の久保妃菜さんにサマーキャンプに参加した感想文を閉村式で発表してもらいました。彼女は今回のキャンプをきっかけに是非、YCE留学に応募し見聞を広げたいと心から語っていました。

最後に、ホストファミリーの皆様のおもてなし、ご支援、またこのサマーキャンプに駆けつけていただいたメンバーの皆様、レオクラブのメンバー、各学校の先生、生徒さん、心よりお礼を申し上げます。誰一人脱落することなく、けがもなく、楽しいサマーキャンプとなったことを幸甚に思います。ありがとうございました。

結成20周年記念大会

土成ライオンズクラブ

1. 期 日 平成28年10月1日(土)
 2. 会 場 ハートプラザ住友
(土成町)
 3. 参加者 来賓27名・18クラブ
会員98名
 4. 内 容
 - ① 記念誌発行
 - ② 記念事業
(町内小中学校 4校・
認定こども園1園へ補助金)
 - ③ 記念式典・祝宴会
(土成LCの歩み紹介
(記念誌及びDVD))
 - ④ 歴代会長スローガン
○ 献血(採血者人数と採血量)
○ 社会活動の奉仕時間数
○ 使用済み切手の収集数
○ 他クラブとの合同例会
○ 平和ポスターへの応募
○ 結成当時から会員数の変遷
- 真鍋地区ガバナーをはじめ、ご来賓や
会員仲間から温かい励ましの言葉を頂き、
改めて会員一同、ライオンズの高揚を
決意いたしました。



25周年記念式典を迎えて

徳島吉野川ライオンズクラブ

25周年大会委員長

阿部 成幸

去る平成28年11月2日、徳島吉野川ライオンズクラブは、結成25周年の記念式典をザ・パシフィックハーバーにて開催することができました。

式典には徳島県知事をはじめ、ご来賓の方々、徳島市長、336-A地区ガバナー真鍋隆様、各クラブから会員の方々のご臨席を賜り、盛大な式典となりました。

さらに障がいをもつ方々が、日本の心である伝統的な和太鼓の演奏を真剣に取り組み姿勢に感動し、その上三味線の演奏も加わり、和気あいあいとした中で、一段と華やかな集いとなりました。

会員一同、心をついにし、絆を深めることができました。発足以来、一人ひとりが奉仕活動について深い認識を持ち、動・植物園に桜の植樹、青少年の健全育成、献血奉仕など、地域社会への奉仕活動を継続して行つて参りました。

今後もウィ・サーブの原点を忘れず、アフターフォローの充実を図り、30年、40年へと先を見据えた真摯な取り組みをし、人との絆や思いやりの精神で豊かな未来を育んで参ります。

今後共、一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





結成30周年記念大会を終えて

上板ライオンズクラブ

結成30周年記念大会委員長

西木 弘

平成28年10月23日、徳島県知事、地元上板町長、第一副地区ガバナーをはじめ、多くのご来賓、地区委員、ブラザークラブの皆様方のご臨席をいただき結成30周年記念大会を盛大に挙行することができました。上板ライオンズクラブは、徳島中央ライオンズクラブのスポンサーにより徳島県で20番目のクラブとして45名の会員により結成されました。この間、町内4小学校への出前授業、環境美化活動、献血奉仕活動、交通安全運動に参加等地域社会に根ざした奉仕活動に取り組んでまいりました。30周年を節目として、今後更に地域社会・会員同士との絆を深めて奉仕活動に努めてまいりたいと考えています。



クラブ結成55周年を迎えて

今治ライオンズクラブ

会長 村上 浩二

私ども、今治ライオンズクラブは、本年10月16日にクラブ結成55周年記念式典を挙行了いたしました。当日は、今治市長菅良二様をはじめ、各界のご来賓各位と真鍋隆地区ガバナー並びに地区役員・地区委員のご臨席を賜わり盛会にて無事終了することができました。

さて、55周年記念事業といたしまして、国際姉妹提携クラブ台湾・嘉義LCとの国際交流交換留学事業を行いました。今回、日本と台湾の文化交流並びに人的交流を行い、子供たちの情報教育のみならず国際的視野を持った健全な成長を願ったこの事業は大成に終わり、私も会長としてホッとしているところであります。この記念事業に携わった関係各位に心より感謝申し上げます。

結成55周年を迎えた私達は、クラブの歩んできた長い歴史と伝統を顧みるとともに、将来の発展に向かって英知を集結して会員一同精進して参ります。

今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻を賜わります様よろしくお願い申し上げます。



結成55周年記念式典を終えて

善通寺ライオンズクラブ

結成55周年大会委員長

眞鍋 國夫

平成28年10月30日(日)、私達善通寺ライオンズクラブは琴平町の琴参閣にて、結成55周年記念式典を終えることが出来ました。当日はこの秋一番かと思えるような秋晴れの中、善通寺市長平岡政典様はじめ、ご来賓の皆様方、ライオンズ関係では、3361A地区ガバナーの眞鍋隆様はじめ、地区役員の皆様方、又、スポンサークラブの坂出ライオンズクラブ、姉妹クラブである修善寺ライオンズクラブなど多数の皆様のご臨席を賜りましたこと、メンバー一周の喜びであり、心より感謝申し上げます。

私達クラブのリーダー的存在だった松下氏が亡くなりましたことは、大きな心の傷となりましたが、チャーターメンバーの千代子にお逢いできて大変な励みとなりました。

今後共、クラブ全員が一致団結して、We Serveをモットーに60周年、70周年に向けて前進して参りたいと思います。今後共、皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。結成55周年記念式典を終えての言葉とします。



55周年記念 皆様への感謝を込めて

伊予三島ライオンズクラブ

会長 篠永 誠司

2016年10月15日、ホテルグランフォールにて、「伊予三島ライオンズクラブ結成55周年記念式典」を開催させていただきました。

式典には、3361A地区眞鍋隆地区ガバナーを始めとするライオンズ関係のご来賓の皆様、篠原実市長を始めとする行政関係のご来賓の皆様方にご臨席を賜り、温かいご祝辞を頂戴いたしました。

記念事業としては、四国中央市へ遊具・書架等、愛媛県立松山盲学校へは衣類乾燥機の目録贈呈、またその他諸団体へは育成金等を贈呈いたしました。

たくさんの方々を支えられて、55周年を迎えることができました、伊予三島ライオンズクラブ。これからも会員一同テーマである

「伝統・創造」を胸に、地域の方々への奉仕活動を通じて、社会貢献して参りたいと思います。





〈未来〉丸亀京極LC40周年記念

丸亀京極ライオンズクラブ

PR・ライオンズ情報大会参加委員長

大塚 成和

10月23日に開催しました丸亀京極ライオンズクラブ結成40周年記念式典には、来賓始め多くのブラザークラブの方々にご臨席いただきました。5年ごとの記念式典を新たな船出とする良い機会であったと感謝申し上げる次第です。

記念式典は手作り感を第一に、という大会委員長からの号令が会員全員に行き渡り、一致団結して行なわれました。一人ひとりが得意なことを受け持ち、笑顔で、肅々と進行していききました。これぞまさしく「みんな違ってみんないい」です。

一堂に会した顔ぶれを見渡し思ったことは、個々の力は微力だが大勢集まれば、楽しいことも、ためになることも可能になるという事です。私たちの最大の使命は社会奉仕です。みんな集まれば様々な社会奉仕が実現します。

ライオンズクラブの将来を担う若者もたくさん参加していただきました。まさに「I believe in future」ライオンズの未来を信じられる40周年記念となりました。



結成45周年記念式典

南国ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会336-A地区7R-3Z南国ライオンズクラブは、平成28年10月23日(日)に、結成45周年記念式典を、南国市長橋詰壽人様・真鍋隆ガバナー・姉妹クラブの宮城県岩沼CLプラザークラブの方々にご出席いただき、開催することができました。ありがとうございました。

式典において記念事業として、南国市消防本部へミニ消防車「ポンパーくん」・南国市子供会連合会へテントとゼッケン一式・JR四国後免駅へ木製ベンチ4脚の贈呈式をしました。

陸上自衛隊高知駐屯地の第50普通科連隊長に記念講演をお願いしました。

祝宴では、地元のコーラス大篠による合唱に始まり、鏡開き、橋本充好前地区ガバナー名誉顧問会議長の乾杯、アトラクションのベアリードダンスと続き、最後の川村盛昭7R-3ZCのライオンズ・ローアまで、厳かな中にも、和やかに役3時間半終了することが出来ました。ありがとうございました。





50周年記念大会を終えて

久万ライオンズクラブ

会長 古田 邦博

私たち久万ライオンズクラブは、半世紀、50年を経ました。山間の小さな町で、メンバーも少なく、新たな入会者もない中で50年はまるで奇跡。その少ない会員が、知恵を出し、力を結集して、質素ではあるけれど、暖かさ溢れる50周年記念大会を結実させました。

336-A地区内でも小粒な、会員20名の田舎のクラブに、真鍋隆地区ガバナーをはじめ、多くのご来

賓・地区役員・ブラザークラブ・姉妹クラブの皆様においでを頂き、感謝感激。記念大会当日は、記念公演として愛媛唯一の農村歌舞伎であり、県指定無形民俗文化財の「川瀬歌舞伎」を自主上演しました。町内の方々をご招待し、好評を得る事が出来ました。

クラブは正直、会員減少で存亡の危機に立っており、今が正念場であります。解散も含めたクラブ再生委員会を立ち上げ、目下個々の意見を聴くアンケート実施中。クラブ員のライオンズクラブに対する心積もりが、試されるところです。



松山センチュリーライオンズクラブ 誕生!!



2016年9月22日

於、東京第一ホテル松山



会員純増計画「第1四半期」を終えて

GMT・GLT・FWT・

会則委員会

委員長 岡崎 邦彦

会員純増計画「第1四半期」を終え、その間、1R3Zに松山つばきL.Cのスポンサーにより松山センチュリーL.Cが結成されました。また、RC、ZC、地区委員、各クラブ会長、会員の皆様のリーダーシップと活力により、会員増強で35準地区において優秀な成

魅力的な会報誌作りを

PR・ライオンズ情報・

大会参加委員会

委員長 柴田正比古

委員長になって5ヶ月が過ぎようとしています。その間に各クラブより100部を超える会報誌が届けられました。すべての会報誌に目を通させていただきましたが、残念ながらライオンズクラブ外の読者を意識した原稿は非常に少なかったように感じました。役員

キャラバンカーについて

環境保全・保健福祉・

アラート委員会

委員長 吉田 清志

今年度、当委員会では薬物乱用防止啓蒙活動に利用できるツールとして、キャラバンカーの貸し出しを実施しています。

このキャラバンカーというのは、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターが大型

績で終える事ができました。しかし、各クラブの会員の皆様の努力に反して入会者の約半数の退会者が出るという残念な結果になりました。

これから、「第2四半期」を迎えるにあたり会員の増強目標を達成すると同時に、退会防止・会員の高齢化する現状に対応すべく若い会員の入会と育成の促進。

また、正規のプログラムとなった家族会員制度は、クラブ後継者の育成と家族・女性の参加により、新しい視点からの発想による奉仕活動の創造を得る事ができると思います。

の就任挨拶、離任挨拶、例会報告、理事会報告、ドネーション報告、アクティビティ報告、新会員の紹介などがほとんどでした。もちろんこれらの情報をメンバーに周知するのは大切なことです。

でもそれは、紙に印刷しなくてもFAXとかメールで十分果たせると思います。アクティビティの報告も必要でしょうが、実施前にも掲載することによってPR効果が見込めます。

ライオンズクラブ外の読者を意識した会報誌、ライオンズクラブのPRを意識した会報誌作りに挑戦してみましよう。

バスを改造して開発したもので、社内にタッチパネルでクイズ方式の画面が出るパソコンや薬物乱用の害悪を解説したパネル、映像資料を搭載しており、薬物乱用の恐ろしさを体験的に学習できるようにしております。又記念写真が写せるブリクラ装置も備えています。これまでに2R、5R内のL.Cが利用して好評を得ています。利用クラブには運転者の確保と消費ガソリンを負担して頂くこととなりますが、詳細はこんぴらキャビネットの当委員会のホームページをご覧ください。

第29回国際平和ポスター・コンテスト

青少年・LCIF・委員会

委員長 石川 裕之

ライオンズ国際平和ポスター・コンテストは、平和が何を意味するかを独創的に表現するよう11歳から13歳の子どもに奨励する国際コンテストです。世界中のライオンズクラブは毎年、地域の学校や青少年団体でコンテストを主催しています。この絵画コンテストは、世界中の児童に平和へのビジョンを表現するよう奨励するものです。25年以上に渡り、約100ヶ国から何百万人もの子供たちがこのコンテストに参加してきました。

2016〜2017年度のコンテストのテーマは「平和、万歳！」でした。コンテストは子供たちが人々にユニークな平和のイメージを伝え、見る人の他者に対する寛容さと国際理解を深める機会を提供していると考えます。

現在、キャビネット事務局には各クラブから約200枚のポスターが送られてきております。各地区委員からの報告で3361A地区全体では5,000枚

を超える応募があり各クラブで厳正に審査された優秀な作品で、非常に色使いがうまく独創的で児童の平和に対する考え方がわかるような素晴らしいものばかりです。筆使いの丁寧さで子どもたちが一生懸命に描いてくれた気持ちや努力が、絵心を知らない私にも痛烈に伝わります。

しかし、残念ながらポスターの出来は素晴らしいものの、文字数字を使っていたり、紙を貼った立体作品であったり審査基準を満たしていないものも数枚見受けられました。子どもたちが一生懸命に描いてくれた作品であるのに残念な結果で終わらせたのは、私の周知徹底が足りなかったものと深く反省しております。

最後に多数の応募してくれた子どもたちに感謝いたします。また平和ポスターに携わった地区委員、参加クラブメンバーの方々に御礼を申し上げます。



ライオンズクエストワークショップ

鳴門ワークショップを終えて

鳴門LC

ライオンズクエスト特別委員長

春木 扶佐子

鳴門ライオンズクラブは8月18日・21日、鳴門市消防署会議室にて第7回「ライオンズクエストライフスキル教育」ワークショップを開催しました。WS開催にあたり、鳴門市教育長、副市長が各学校訪問をし、ご協力をいただきましたが開催日が登校日と重なって先生方が参加できないことがわかり、初めての試みでありますトリプルワークショップを開催しました。鳴門LCの課題は、先生方の人事異動により、実践資格のある先生数が足りなくなり、授業継続が困難になることです。もちろん、校長先生他の管理職の先生の移動も大きく影響します。7回目を迎えてこのまま続けていいものだろうか、学校単位の実施が学年単位となり、クラス単位となると困難となります。そのために新たに赴任された先生方が参加できるためのワークショップを開催することが大切と考えております。しかし、先生方の夏休みは思った以上に忙しく、日程調整が一番の難題となっております。

今回の参加者は、教員、女性子供支援センターの相談員、教員を目標としている学生など、いろんな立場の

人の参加がありました。学生も将来、目指している教員の先生とプログラムを体験できることや子どもたちの気持ちを体験できたことも貴重な経験だったようです。講師の寺本先生からもいいワークショップだったと感想をいただきました。今後鳴門市内の子どもたちにプログラムを届けるために頑張りたいと思います。

■参加先生方の感想

○ほどんどの方が初対面でしたが、誕生日で並んだり、質問形式で話し合ったことで、そのあとのグループ活動でも安心して発表できる環境がつけられていると思いました。発表のとき聞く人は、最後まで聞く、否定をしないことが大切だと思いました。そうすることで、発表者が間違ったことを言っただとしても、聞く人が受け止めてくれるから、発表者は次も自信をもって発表ができると考えました。とても貴重な2日間でした。ありがとうございました。

○自分から意見を言ってみようという雰囲気になってくださり、人の話を聞く態度の基礎が学べた。要点をまとめて発言する大切さ、自分がこれから努力しなければいけない点であることを再確認した。昨年大学院で学んだ内容(形式)と重なり、これからの指導の方向を学んだ。2日間大変お世話になりました。



坂出ワークショップを終えて

坂出LC
ライオンズクエスト特別委員
橋村 隆文

■ワークショップ開催

9月3日10日坂出市ふれあい会館にて、第八回ライフスキル教育プログラム坂出ワークショップ（公募型）を開催いたしました。

今回は新たな取組として、開催するにあたって、地区ライオンズクエスト特別委員会が企画した体験セミナーを6月30日に開催いたしました。体験セミナーには、講師に認定講師柴咲子先生を迎えて、5R各クラブのメンバーを中心に、校長先生や教員、PTAなど教育関係者50名が集まりました。3361A地区ライオンズクエスト特別委員会として、今後の事業をいかに広げていくかという観点について少しですが、ヒントと光明を得られた体験会でした。そして9月本番のWSには4Rとも連動して参加募集を行い、中学校教員2名小学校教員2名、幼稚園保育園保育士3名、PTA関係者3名、私学等教育関係者4名、ライオンズメンバー6名のバラエティ豊かな参加者での開催となりました。講師は体験会と同じく柴咲子認定講師をお迎えし、二日間内容の濃いワークショップとなりました。

■ライフスキル教育プログラムの今後の課題

本事業も本格的に導入推進が始まって十年余り、当クラブにおいても八年を終えようとしています。当然のことながら、地域差があったり、クラブ間クラブ内での温度差がある上に、実際の対象となる教育現場である学校の環境も変化してきています。Rリトル氏が崇高な精神で生み出した、生きるためにとっても大切な力とスキルを、いち早く子どもたちに届けるためには、従来の考え方や方法では子どもたちが学び、それを体得するまでには何十年という月日がかかるのではないかと正直感じる次第です。

WSを終えてひと月余り、果たしてこのまま継続していくことが、クラブや地域の方々に本当に役立つのか？単に自己満足しているだけではないのかと思ひ悩む日々。。。そんなある日、今回合同でワークショップ開催をし、高松からの受講生（ある保育園の保育士さん）を誘導いただいた同じ特別委員会の眞鍋しより、参加された保育士さんの保育園から、校内型を実施して園の先生方全員に受けさせたいとの要望が出ているとの報告を受けました。また、さらに今回のワークショップを受講していただいたソーシャルワーカーの方より、プログラムを若者就労者支援や小さなお子さんをお持ちの父兄を対象にした子育て支援の活動に

取り入れたいとの要望が寄せられました。

これらはまだ確定していない未来の事ではありますが、本年3月より特別委員会委員が集まって、今後の取組について真剣に話し合い行動した種が実際にアクションしてみた事で花開いた事と思います。

■一粒の種を万倍に！

「感謝とシェア」の時代と一部で言われる現代、ライオンズ活動も、同じ事を多いか少ないか問題課題として競うのではなく、つながりを

大切にし、個性や特徴を認め合い補い合う若者の姿勢や文化に歩み寄っていくことが重要なのではないかと感じる今日の頃。もしかするとライオンズクエスト事業は、子どもたちを支援しているようで、実はオジサンたちに世の中の変化を感じ変化進化せよとのお達しを浴びせるプログラムなのではないかと密かに感じています。と同時に、ここまで心血注いで育ててバトンを渡してくれた尊敬する先輩の志を無にしないようにこれからも一粒が万倍となるように、頑張っていきたいと思えます。



松山セミナー

今治くるしまLC

ライオンズクエスト特別委員

野間 典子

私の担当している愛媛県内で、クラブ数・会員数の割にライオンズクエストのアクティビティをあまり聞かない1Rで、特別委員会主催の体験会を開くことになったのは、前年度のガバナーの諮問事項がきっかけでした。奇しくも委員会で、3361A地区でライオンズクエスト事業に取り組んで10年目を迎える節目の年に、地区委員がそれぞれの4県を担当し、また相互に協力しあい「四国はひとつ」の掛け声のもとに普及拡大に努めようと再確認したところでした。「クエスト事業周知のために研修会を開催してほしいです」という諮問に対し、「機会があればぜひ、セミナーに参加したい」という回答を寄せられた会長に連絡を取り、その気持ちにお変わりが無いことを確かめ、開催に向けて動き出したのが、前年度末でした。できれば6月30日の委員会主催の坂出セミナーの前後に開催し、費用を節約したかったのですが、ちょうど福岡での国際大会開催の時期に重なり、3361A地区からは大勢の会員が参加するので、日程的に厳しい

のではないかとという村井1R1RC（当時は予定者）から助言をいただき、開催を7月13日（水）のお仕事を終えて参加できる18時半としました。

委員長とエリア担当の名前で、キャビネットから案内文書を送ってもらったのですが、1Rの規模から考えると鈍い反応でした。プログラムの日本導入時からライオンズクエストに関わっていらつしやるライオンズクエストの認定講師の柴咲子先生を埼玉から招いての体験会を企画していたので、一人でも多く体験してもらいたかったのですが、リジョンが違うので、その思いを伝える相手も居なくて、どう進めていけばいいのか戸惑う中で、最後まで参加の声掛けを続けてくださった村井RCのおかげもあり、36名の参加者がありました。村井RCには感謝、感謝です。また、3RからはLQに深い理解のある西園寺元ガバナーが現役の教員を連れて参加していただきまし、2RからもZCやZCAが駆け付けてくださり心強い応援をいただきました。

セミナーが始まってみると、講師の柴先生がご自身のエピソードを交えながら、「LQとは」から始まり、パワフルでテンポの良い進行で、みなさんを笑顔あふれる「柴ワールド」に引き込み、参加者が生徒となつての模擬授業に進みます。

「家族の絆」という単元の授業で

は、「我が家らしい物」または「我が家の自慢料理」をグループ内で全員に挙げてもらいます。しかつめらしいテーマですが、「うーん」と考え込むようなお題ではないのが、LQのいいところ。グループの全員が発言し終えた頃を見計らって、グループごとに発表するのですが、その際、柴先生が「らしい物」のことをもっと詳しく聞いたり、時には料理方法を探ねたりのやり取りを通して、あまり意識してこなかった家族との繋がりを認識させてくれ、自分の家族ってまんざら捨てたものじゃない」とそれぞれの参加者が思

えるようになってくるのが不思議です。次のステップとして、そんな家族の一員として自分の役割を考えます。例えば朝刊を取ってくるだけでも家族のことを考えての行動です。こんな風な授業を小学生や中学生が受けることができれば人間の根幹をしっかりとくれるのではないかと、受けるたびに強く思います。愛媛県内でもこのすばらしいプログラムを理解し、ともに進めてくださる方が現れることを期待しております。そのため、特別委員会としても協力を惜しみません。どしどしご相談ください。



ライオンズクエストへの 取り組み

高知とさみずきLC
ライオンズクエスト特別委員
齊藤 明子

今回は参加人数が少なくワークショップ開催の基準枠より少し外れておりましたが講師の北山先生の素晴らしいご指導と、何よりも参加する方の意気込みが伝わってきて、とても濃厚な二日間でした。

学校教育の中で直接子供たちにかかわって行くことはとても重要で大切な事なのは勿論ですが、現在の様々な環境の中で、学校に行くことの出来ない子どもたちや、集団の中でコミュニケーションをうまくとることの出来ない子どもたち、それに加えて家庭の事情が絡み、生きていくことさえままならない子どもたちがいる事の現実を知ることとても大切なのだという事を目の当たりにした2日間でした。と言うのは今回のワークショップに参加してくださった3分の2の方が子ども達の命に直接かわかり守って行こうと子供食堂（仮名）を立ち上げようとしている方たちだったからです。

そして、子供ともしっかりと生活の中でかかわっていかうとする方たち、地域の中で子供たちを守っていかうと

する方たちの思いの中で学校そのものが子供のライフスキルを育くむために不足しているものがたくさんあることを感じました。

その後こどもの居場所作りの施設設立は着々とすすみ、昔の寺子屋のようなものを目指し、第一回目が開催されました。今回受講して下さったことがその方たちの参考になり礎となったという事を確信しながら、ライオンズクラブとしても我々は応援し続けていきたいと思っています。

■参加者の感想

○この度は素敵な勉強会にさせていただきありがとうございます。

2日間笑顔が絶えず、ライフスキルとは何か、なぜライフスキルを学ぶのか、どうライフスキルを学ぶのかということ順序だてて学習することができ大変頭の整理ができました。（教育学部学生）

○2日間お世話になり、ありがとうございます！実践的でとても有意義な時間でした。学校で授業をする機会があるので、ぜひ取り入れたいと思っています。学校の先生方にもご紹介させていただきませう。体験するときは興味を持っていただけたと思います。

（カウンセラー・指導）

講師の先生からは「少人数でしたが、グループワークもなんとか出来

て、ほっとしています。見学者や一部参加者も違和感なく参加して、コメント係までやっていたのはおもしろかったですね。ちょっと普通の研修会にはない光景です。」と土地柄をそのまま表しているようなワークショップ内容に臨機応変に対応してくださり素晴らしいワークショップとなりました。



土佐LCライオンズ クエストへの取り組み

土佐LC
ライオンズクエスト特別委員
吉村 政男

2016年ライオンズクエストワークショップを8月25日(木)・26日(金)の両日開催しました。本年度6回目となり184名の先生方が修了証書を受け取りました。数字の上では来年度で土佐市内全小中学校の先生方が終了することになります。この6年間に移動、新採用等でまだ50名程の方が経験をしていません。今後は未経験者、移動等で赴任された先生方にワークショップに参加していただけるものと考えています。又新規採用者は市教育委員会の研修会の一つとして予定されており、今後も予定通り参加されるものと思います。

本年から中学校の先生方を中心にワークショップに参加していただくよう計画しましたが、小中学校の先生方の交流が深まり良い経験となりましたとの感想もあり、オール中学校、小学校よりは、ある程度混在している方がベターと感じています。

下記に感想文の一部を掲載しますが、2学期に入り早速取り組みを行い、その状況も連絡を受け、以後も是非とも続けてワークショップの開

催を懇願されました。主幹教諭より、取り入れて行う事で、子どもたちも明るく、前向きになったとか、若い先生方で自身が上手くコミュニケーションが取れなく悩んでいた先生も子どもたちとの会話、距離も上手く取れるようになったと聞きました。

この様に早速の取り組みと、報告を受けLQの重要度を感じています。

■参加先生方の感想(二部です)

○若手からベテラン先生の中でのグループ活動は、色々な世代の考え方が、自分と違った視点で見直すことができ勉強できました。2学期に活かしていきたいと思いました。

○二日間の活動を終えて、すぐに学校で使えるようなものばかりで、本当に勉強になりました。自分の意見を発表する場が沢山もうけられていたので、自分自身のコミュニケーション能力を鍛える場にもなりました。2学期では、今回実施したプログラムや授業展開をもとに、自分の学びをこども達に還元していきたいです。

○ライフスキルの重要性の理解をワークショップ、自らの体験、グループ共有など、様々な方法で学べたことも今後の指導、活用に向けて大変効果の有るものになったと感じております。こども達の現

在の課題に向き合う中で、たくさん先生方と協働して取り組めたことはよい機会になったと思います



ワークショップでの風景



2学期での授業風景



す。この活動を通すことで、よりライフスキルの重要性を感じることが出来ました。



ライオンズクエストのライフスキル教育プログラムは青少年の健やかな成長と薬物乱用防止への願いからスタートし、総合的な内容に発展したプログラムです。家庭・学校・地域が連携し、安全で安心できる環境のもと、青少年が社会の一員として必要な「ライフスキル」を系統的に身につけることを目指しています。先生にとっては教えやすく、子どもたちは楽しく学べることから、世界各国の学校で採用され、実施されています。

ライオンズクエストが 目指すもの



LIONS QUEST



A Program of Lions Clubs International Foundation

ライオンズクエストプログラムは大人たちが勇気をもって子どもや若者たちを支援し、生きる力を育てるための優れた道具（ツール）です。

ロゴマークは、未来ある子どもや若者と、それを見守り、支えようとしている大人たちを2つの手で表現し、プログラムの神髄を伝えています。

ライオンズクエスト特別委員長 春木 扶佐子

ライオンズクエスト「ライフスキル教育プログラム」は3361A地区では2006年に高知とさみずきLCが単独で導入され、2007年より国際財団（LCIF）より交付金を得て普及活動を開始してから今年で10年目を迎えます。

その間、地区内クラブにおいて、校内型12回、公募型31回、計43回のワークショップが開催され、受講者も1004名となりました。現在は委員長を中心として各県から5名の委員で構成されたライオンズクエスト特別委員会として普及活動を継続

しております。

各クラブによって温度差がある事業ですが「もっとプログラムを知りたい」「実践校の生の声を聞きたい」など皆さまの疑問に答えるための「実践紹介」と「模擬授業体験」を開催しております。坂出・松山・2月には徳島で開催予定です。又、セミナーに参加された役員の方のご提案で一般の方々や子育て世代の方、就学児童、生徒をお持ちの保護者を対象に青少年の健全育成に取り組んでおられる地区で「ライオンズクエスト」の講演会を開催予定です。子育て世代の応援団として、保護者側から教育関係者に対して「ライフスキル教育」の必要性の提案や進言を期待しております。もっとたくさんの子どもたちにプログラムを届けたい... 思いは変わることなく、諸先輩方が3361A地区に灯した火を消すことのないように事業を広めていきたいと思っています。

10月には単独で全国フォーラムを開催された富山昭和ライオンズクラブが鳴門LCを訪問され、委員会交流会を開催しました。他地区の取り組みを参考にしながら熱い思いを共有したいと思っています。この事業は「人の心」という繊細なものを扱う事業であり、すぐに目に見えるような形で結果が出るものではありません。そのため、結果ばかりを求めず、長い目で温かく見守っていただければと思います。

〈お知らせ〉

これまで参加者募集の課題となっておりました二日間開催のみのワークショップ開催形態が多様なニーズに対応すべく、1日のみで修了できるスタイルにトライアルします。導入時期を検討しておりますのでしばらく、お待ちください。



委員会交流会

ライオンズクエストについて熱い思いを語る春木委員長はじめ23名の精鋭（富山昭和LC10名、鳴門LC12名、坂出LC1名）

特別寄稿

四国遍路に魅せられて

私の四国八十八ヶ寺巡礼の心 空海の路（教え）

阿波池田ライオンズクラブ

(2004～2005年度) A地区プロトコール委員長

井本 仁久



まえがき

私が六十二才の春の頃、四国に存在する八十八カ所（ヤソヤ）の巡礼の寺々、なぜ作られたのであろうか。四国に生まれた私にとっては知りたい世界の一つであった。改めて疑問を感じた時、空海といわれる人物に限りない魅力を感じた。生活の中にお遍路さんの姿はなんの抵抗もなく過ごしてきたものである。

空海は四国をキャンバスとして法輪学で占ったであろうと想定された。幾つかの証が見受けられる。(1) 霊山寺の定めについては北東の方位より（事の初めを）、右回りに（時計の回る方向）を採用、世界の基準に従っている。私は行動を起こす前に次のことに注意して巡礼の道を歩むことにした。① 四国の地形や方位、② 山々の位置や風景、③ 地質や風土④ 1, 2000年以前（西暦815年頃）の文化。



第一に気付くことは、剣山を中心として物語りが展開している。一族が日本にたどり着いてからの歴史、文化が綴られている剣山が望めるお寺は、千手観音（皇室の守り佛）が配置されている。空海は少年期、阿波（徳島）において勉強を重ねた様である。石井町の童学寺がその歴史を伝える一つである。

阿波二十三ヶ寺の巡礼（1200年以前は23の読み方はふみ（文）と発音していた事に気づいた。阿波の巡礼を文字の通り読み下してゆくと

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| (1) 霊山寺 | (2) 極楽寺 | (3) 金泉寺 | (4) 大日寺 |
| (5) 地藏寺 | (6) 安楽寺 | (7) 十楽寺 | (8) 熊谷寺 |
| (9) 法輪寺 | (10) 切幡寺 | | |

霊は極上の金であり、大地の安住を祈り、熊野平野（吉野川平野）を方位（戌亥）で切る。（空海の法輪学には戌亥の方位を斬ると末永く栄えると暗示しているようである）遍路地図で確認すると、西に向かって進んでいた路を、突如、南に向って転換しているのは、何かを意識して変えたものと考えられる。ここ切幡寺では剣山を望むことができる。また西の方向に進む事を拒んでいる。巡礼者に気づかせたくない、歴史的痕跡があると考えられる。続いて

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| (11) 藤井寺 | (12) 焼山寺 | (13) 大日寺 | (14) 常楽寺 |
| (15) 国分寺 | (16) 観音寺 | (17) 井戸寺 | (18) 恩山寺 |
| (19) 立江寺 | (20) 鶴林寺 | (21) 太龍寺 | (22) 平等寺 |
| (23) 薬王寺 | | | |

を読み下してみよう。

豊かな山々を焼き、日本の楽しい国の社会集落は人々を教え字ばせ悟らせて自立させ、動植物や多くの池にも恵まれ、民衆は平等で、しかも優れた薬にも恵まれている。阿波（徳島）の巡礼は次の様に祈っている。世界の平和を祈り、豊かな自然環境や民主社会に感謝している。いつ迄も続く様に祈っている。

土佐（高知）十六ヶ寺の巡礼（ひむ）秘密の巡礼

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| (24) 最御崎寺 | (25) 津照寺 | (26) 金剛頂寺 | (27) 神峯寺 |
| (28) 大日寺 | (29) 国分寺 | (30) 善楽寺 | (31) 竹林寺 |
| (32) 禅師峰寺 | (33) 雪隠寺 | (34) 種間寺 | (35) 清滝寺 |
| (36) 青龍寺 | (37) 岩本寺 | (38) 金剛福寺 | (39) 延光寺 |

以上の寺々を読み下すと、室戸岬を照らす金剛の輝きは剣山の頂上より照らされている。その山（剣山）は神の峰だ日本の住み良い所だと伝えている。

土佐（高知県）中央部から東を望むと剣山の山々を望むことが出来る。

その谷間（種間寺）を進むと清い滝（清滝寺）、青い池（青龍寺）に出逢う、その岩本（岩本寺）に金剛と付属品が延々と光っている（延光寺）と伝えている。（御輿の担ぎ手、下側の写真を参考としてください）今日では金剛のレプリカは神社の御輿として民衆に親しまれている。



土佐（高知）の巡礼は金剛の所在地と金剛の姿を教わる遍路道である。

伊予二十六ヶ寺（愛媛）の巡礼は（踏みしめて歩め、注意して訳せ）と教わる事が出来る。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| (40) 観自在寺 | (41) 龍光寺 | (42) 仏木寺 | (43) 明石寺 |
| (44) 大宝寺 | (45) 岩屋寺 | (46) 浄瑠璃寺 | (47) 八坂寺 |
| (48) 西林寺 | (49) 浄土寺 | (50) 繁多寺 | (51) 石手寺 |
| (52) 太山寺 | (53) 円明寺 | (54) 延命寺 | (55) 南光坊 |

の寺々を読み解くと、この社会は、池（龍光寺）も仏像（仏木寺）も石版も明るく（明石寺）輝やく、神輿が大きな宝だ（大宝寺）、この宝は岩屋（岩屋寺）に保管されており、宝石（浄瑠璃寺）の多く（八坂寺）と西洋の国（西林寺）（浄土寺）から持ち込まれた石版（石手寺）、その石版には多くの文字（繁多寺）が書き込まれ、（失われた十戒であろう）王様の杖（53）



円明寺・(54)延命寺・(55)南光坊と共に剣山(太山寺)に納められている。

剣山四国の南側は鍾乳石で覆われており、洞窟の狭間に眠っているのであろうと想定される。その姿を阿字観で表現、掛け軸にして、高野山の金剛峰寺で僧侶達が瞑想している。

次の寺々を解説しよう。

(56)泰山寺 (57)栄福寺 (58)仙遊寺 (59)国分寺
(60)横峰寺 (61)香園寺 (62)宝寿寺 (63)前神寺
(64)吉祥寺 (65)三角寺

中国(泰山寺)より渡来した徐福(栄福寺)は(紀元前100年頃)(仙遊寺)帰国することなく、日本の国(国分寺)の助けとなつて(横峰寺)良い雰囲気(香園寺)や経済力(宝寿寺)を天皇の前(前神寺)に捧げ、神も仏も民衆も(三角寺)大変喜んだ(吉翔寺)と、寺々の名称で悟ることが出来ます。後の世に徐福や学者達は、お稲荷さんや七福神として、讃えられている。伊予26ヶ寺巡礼の意味は金剛の内容と隣国への気配りを悟る事ができる。

讃岐(香川)二十三ヶ寺の巡礼は(歩み23のお寺)日本民族の歴史を教えているのである。1200年前の歩みを悟ることができる。

(66)雲辺寺 (67)大興寺 (68)神恵院 (69)観音寺
(70)本山寺 (71)弥谷寺 (72)曼荼羅寺 (73)出釈迦寺
(74)甲山寺 (75)善通寺 (76)金倉寺 (77)道隆寺

以上の巡礼の意味は、次の様に訳せた。

雲の辺りには大きな集落が存在します。その集落は神の恵みを受けた集落であり、社会の本山だ、名称は弥谷と言われ、現存する名称は祖谷村であることを暗示で伝えている。その祖谷は組織化されて中心人物は釈迦(天皇)と推定出来る。

しかし天皇は此の地に存在せず出はからつて、出張中と表現している。(下の写真は東祖谷に存在する栗枝渡(キリスト)神社、に供え付けられた手洗、安



徳天皇が葬られている」と云われている。しかし当地が都(京)として善の道を歩み、経済力を養い、導き歩んでいる。

私は此の文献に触れた時。私は奈良へ出向くことにした。

平城京は完成しておらず、都移しは完了していないことに気付いた。

つづいて

(78)郷照寺 (79)高照院 (80)国分寺 (81)白峰寺
(82)根香寺 (83)一宮寺 (84)屋島寺 (85)八栗寺
(86)志度寺 (87)長尾寺 (88)大窪寺

と歩むと私達のふる里は高いところにあり、峰々は焼かれ、森林は少なく、山々の景色は白く、国は一族で構成されている。しかし志は世界を一つにする志を持ち備え、平和な社会を創るのだと、八紘一宇の志が表現されている。剣山の周囲に八箇所の一字と云う地名が存在する。そうして、日本と言う国は長くて大きな国だと表現されている。

総 集 編

(88)大窪寺のお参りを済ませて、杖を納めようと準備していた。少しさみしい気持ちもあつて、経過をたどり思い起こしてみた。

数ヶ年かけて歩んだ痕跡を、共に歩んで、使い痛んだ地図を見直し計算すると、345里であつた。ああ四国を一周すれば345里になるのか、と考えさせられた。

空海の考えは円周は360度、空海の遊び心、距離も360里、何か因果関係があるかもしれないと思ひ直して調査を重ねた。すると新しい見方が発見されたのである。

(88)大窪寺から(10)切幡寺と進み計測。すると、五里が追加され10番切幡寺を(89)切幡寺とすると、(90)法輪寺(91)熊谷寺 (92)十楽寺 (93)安楽寺 (94)地藏寺 (95)大日寺 (96)金泉寺 (97)極楽寺 (98)霊山寺と歩むと一周した事になり、丁度360里となり100メートルの誤差もない事に気づいた。では(99)番は何処に巡礼すればいいのか、考えてみると、本州和歌山県(99)高野山金剛峰寺に当たる事に気づいた。

(99)番の巡礼で納まるのも不自然に思ひ、高野山の赤門で見透しのきく所より四国の方面を望むと四国剣山が眼に入った。では(100)が何処かにあるはずだ。高野山より四国に目を向けてみると剣山が前方に見えた。

剣山へ訪れて見ると(100)金剛院藤の池本坊にたどりついた。(100)金剛院藤の池本坊が重要な事実として発見出来た。この巡礼を解説すると、(10)切幡寺を(89)として、法輪寺(90)と巡礼を霊山寺(98)続けてゆくと次の様に解説出来る。切り開く東の熊野、永遠の安楽浄土、日本の最高の極楽霊場、高野の森に金剛院藤の池本坊(100)を祈る。剣山に存在する金剛院藤の池本坊(100)を発見することが出来た。空海は四国88カ所の巡礼を完成させた時点で金剛院藤の池本坊において完成の儀式をされている。木屋平村紙の記録より。

巡礼の納めに当たり、数々の仏様の教えや多くの人々との出逢い、私にとっては大きな感激と感動、誰もが歩む路を悟ることが出来ました。八十八ヶ寺のお寺は本堂(教えを司る仏様)と大師堂(弘法大師)二つが一對となつて構成されている。本堂の仏様の教えは住職さまは悟られ説明を受ける事が出来ますが、大師堂(弘法大師)の役割は(場所の順番、寺名、距離の確定、寺々の連なり意味)説明をできる人とは出会う事は出来なかつた。誰もが気が付いていない、ましてや距離数の意味についても同じである。八十八ヶ寺の一ヶ寺も除く事が出来なく、意味が読み下す事が出来なくなる事に気が付かされた。今日において気付く事を一件、つけ加え納めといったします。

剣山の金剛院藤の池本坊と伊勢神宮を結ぶ直線上の中央部に、高野山が存在する。計画的に造られたものである。感動の連続であつた。文学博士大杉博先生の著書(空海の暗号と暗示)を一部参考としました。



パン2016かがわ高松開催!



がん征圧、患者支援チャリティに参加して

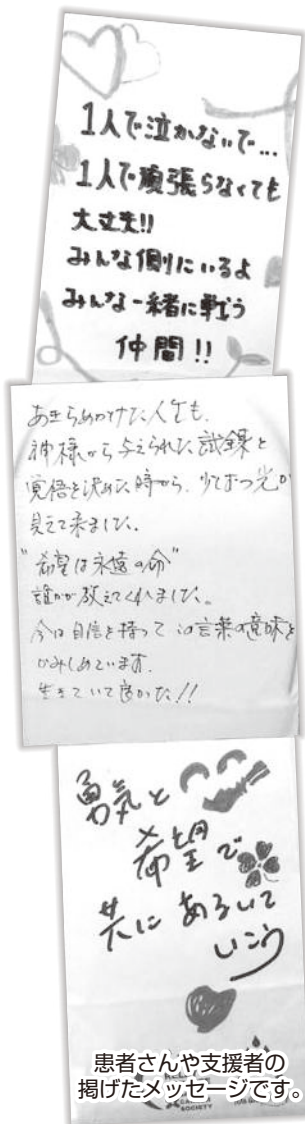
4R・2Z 高松西ライオンズクラブ
理事 平賀 将則

日本人の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が死亡するという深刻な事態は、まことに憂慮すべき社会問題であります。

去る10月29日～30日、サンポート高松多目的広場において公益財団法人日本対がん協会主催による「リレー・フォー・ライフ・ジャパン、かがわ高松」が公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー共催、厚生労働省、香川県、高松市を始め多数の医療行政機関、関係業界団体、大学、マスコミ各社の後援により盛大に開催された。

増え続ける「がん」に社会的関心を喚起し、がんに対する正しい知識と対応を地域住民に啓蒙して、がん患者さんやご家族の悩みを共有する「熱い思い」で立ち上げたのがこの活動です。

世界最大の民間奉仕団体であるライオンズクラブの主要活動には環境保全・保健福祉プログラムがあり、長年に亘って培った豊かなノウハウと輝かしい実績があります。3361A地区では既に徳島県で2回、愛媛県で1回、高知県で1回開催されており、香川県は今回初めて開

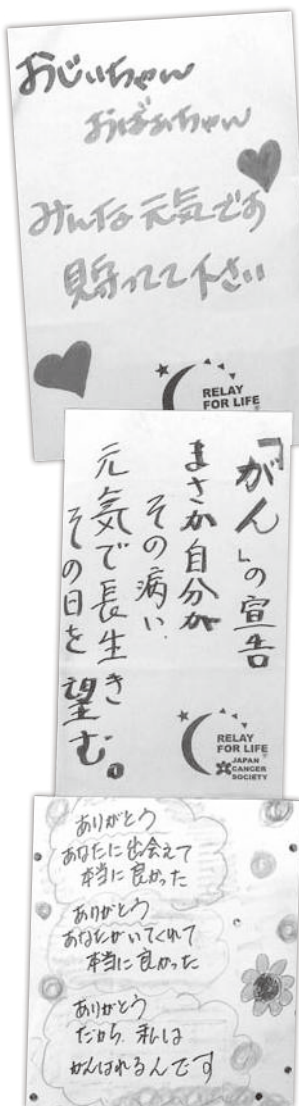


催されたわけでした。要請を受けたわがクラブでは直ちに理事会の承認を経て、4R・RC、4R・各ZCを通じて各クラブに協力、協賛のお願いをし、有り難いご賛同を頂きました。3361A地区、地区ガバナー真鍋隆様を始め、各クラブの獅友に厚く御礼申し上げます。

当日はこの活動に共鳴した企業、団体の21チームが参加し、患者さんとそのご家族、後援会の方々を含めて総勢1,117名がたすきを肩に掛け、それぞれのメッセージを書いたランプシェード「ルミナリエ」を点灯し、先に旅立った人を偲び、現在病気に向き合っている仲間を励ますキャンドルを照らして24時間のリレー行進が大きな拍手と歓声に送られ出

発した。
このたびのイベントを立ち上げた実行委員長齋藤千草さんは13歳の時に骨肉腫で左脚を切断した。その苦しみや悲しみを乗り越えて、がんと闘う患者さんがほんの一時でも笑顔で心の安住が得られますよう、そんな場所を創りたいとの切実な希いを熱く語られました。





つなごう…命…愛と…笑顔で…

かがわ高松初開催の始まりは私のこのリレーイベントに心が救われたという小さな想いに実行委員さん達の力強く熱い想いが重なり、支援して下さった人達の愛と笑顔に繋がって今日という日を迎えることができました。まさしく「百和」たくさんのご縁を繋げていただきました。本当にありがとうございます。つなごう命～愛と笑顔で！～を胸にかがわ高松のテーマソング「ひだまり」のように暖かく愛に溢れた場所を創りたいという一心でここまでできました。初開催に向けて壁にぶつかった時にはリレー・フォー・ライフの使命「Save lives」(魂を救う)と三つのテーマである「祝う・しのぶ・立ち向かう」に立ち戻って実行委員みんなで考え知恵を出し合い前に進んできました。

今日は未来への第一歩です。笑顔でタスキを繋がますように！！ライオンズクラブの皆様、温かいご支援を心から感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンかがわ高松実行委員会
実行委員長 齋藤 千草



— 3つのテーマ —

● 祝う ● しのぶ ● 立ち向かう

とき 2016年10月29日～30日(24時間)

ところ サンポート高松/多目的広場
デッキスガレリア



336-A 地区会員現況

(入退会は累計・2016年7月度～11月度)

R	Z	クラブ名	期首	6月末	増減	
1	1	松山ホスト	37	42	5	
		久万	20	20	0	
		松山東	50	55	5	
		砥部	53	54	1	
		松山つばき	58	58	0	
		松山城山	40	41	1	
		松山道後	54	54	0	
	2	伊予	46	43	-3	
		松山西	51	51	0	
		松前	21	21	0	
		松山北	43	45	2	
		松山湯築	36	39	3	
		松山城東	23	28	5	
		3	北条	17	18	1
	松山中央		103	111	8	
	松山南		37	40	3	
	東温		27	27	0	
	松山金亀		43	46	3	
	松山白鷺		78	77	-1	
	松山センチュリー		0	43	43	
R合計		837	913	76		
2	1	新居浜	56	60	4	
		新居浜中央	36	39	3	
		新居浜別子	32	34	2	
		新居浜ひうち	32	32	0	
	2	今治	75	76	1	
		今治中央	53	54	1	
		今治東	55	55	0	
		今治くるしま	48	48	0	
	3	伊予三島	39	39	0	
		川之江	61	60	-1	
		伊予土居	69	66	-3	
		四国中央法皇	39	39	0	
	4	川之江中央	40	39	-1	
		西条	70	69	-1	
		東予	37	37	0	
		伊予小松	11	13	2	
	R合計	811	819	8		
		3	1	大洲	46	53
	宇和			52	53	1
	伊予長浜			13	13	0
内子	53			53	0	
野村	21			22	1	
2	八幡浜		37	39	2	
	三瓶		18	19	1	
	伊方		41	44	3	
	保内		34	34	0	
	八幡浜みなと		40	41	1	
3	宇和島		39	36	-3	
	伊予吉田		28	27	-1	
	南宇和		41	41	0	
	鬼北		37	37	0	
	R合計		500	512	12	

R	Z	クラブ名	期首	6月末	増減
4	1	高松	36	37	1
		小豆島	44	47	3
		小豆島東	31	32	1
		高松葵	21	24	3
		高松南	16	14	-2
		高松フェニックス	23	24	1
		高松東	44	55	11
	2	高松西	44	37	-7
		直島	28	30	2
		八栗	36	37	1
		高松源平	35	38	3
		高松中央	54	61	7
		東かがわ	44	47	3
		長尾	52	51	-1
	3	志度	41	40	-1
		三木さぬき	50	50	0
		高松グリーン	19	18	-1
		高松玉藻	60	60	0
		高松栗林	61	66	5
		高松屋島	74	72	-2
高松紫雲		67	67	0	
4	高松空港	32	31	-1	
	高松北	39	42	3	
	R合計		951	980	29
	5	1	丸亀	125	127
坂出			58	61	3
坂出白峰			137	136	-1
綾歌郡			18	20	2
5		丸亀京極	81	82	1
		うたづ	50	50	0
		坂出シニア	53	56	3
		観音寺	29	34	5
2		善通寺	44	43	-1
		多度津	65	71	6
	三豊	50	51	1	
	こんぴら	71	75	4	
R合計	805	831	26		
	6	1	高知	57	56
高知柏			77	78	1
高知東			52	50	-2
高知北			45	45	0
高知桜			63	61	-2
高知とさみずき			18	23	5
2		須崎	35	33	-2
		土佐	50	50	0
		伊野	25	23	-2
		佐川越知	26	27	1
3	中土佐	26	25	-1	
	四万十	55	57	2	
	土佐清水	43	42	-1	
	宿毛	24	24	0	
R合計	658	654	-4		

R	Z	クラブ名	期首	6月末	増減	
7	1	高知鷹城	53	55	2	
		室戸	30	30	0	
		高知鏡川	42	42	0	
		高知南	35	35	0	
		高知よさこい	52	54	2	
		土佐国府	16	16	0	
		高知黒潮	65	68	3	
	2	高知桂	47	44	-3	
		高知中央	57	57	0	
		高知安芸	36	40	4	
		高知りょうま	62	54	-8	
		土佐山田	14	13	-1	
		土佐本山	29	29	0	
		南国	28	29	1	
	3	土佐香南	45	46	1	
		大豊	5	5	0	
		R合計		616	617	1
		8	1	徳島	29	30
	小松島			27	27	0
	阿南			42	47	5
徳島南	13			18	5	
阿波勝浦	24			24	0	
徳島マリンピア	43			46	3	
2	徳島すだち		86	88	2	
	徳島中央		31	32	1	
	石井		38	40	2	
	徳島城山		49	49	0	
9	1	上板	34	34	0	
		徳島吉野川	35	36	1	
		土成	33	32	-1	
		徳島やまもも	23	25	2	
		R合計		507	528	21
		2	徳島眉山	29	30	1
	鳴門		45	45	0	
	藍住		37	39	2	
	板野		33	37	4	
	9	1	松茂徳島空港	14	17	3
鳴門西			25	26	1	
北島			40	44	4	
阿波池田			30	28	-2	
脇			39	41	2	
鴨島			33	33	0	
2		阿波	28	29	1	
		神山	24	24	0	
		徳島藍	43	44	1	
		R合計		420	437	17
地区合計		6,105	6,291	186		

物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日



①福岡 勲(65歳)
②5R-2Z 三豊
③1983年10月7日
④2016年9月16日



①船倉 和夫(88歳)
②1R-3Z 松山中央
③1964年11月22日
④2016年8月21日



①遠山 功(75歳)
②2R-3Z 川之江
③1995年1月
④2016年8月6日



①秋友 友義(94歳)
②4R-3Z 志度
③1982年10月
④2016年6月14日



①高岡 通則(67歳)
②1R-3Z 松山白鷺
③1997年12月
④2016年11月3日



①杉山 勝(86歳)
②4R-2Z 高松源平
③1993年12月1日
④2016年10月11日



①木下 勇(73歳)
②6R-3Z 土佐清水
③2013年9月5日
④2016年10月3日



①大久保長幸(100歳)
②7R-1Z 高知鷹城
③1964年3月
④2016年9月26日



①松下 正富(70歳)
②5R-2Z 善通寺
③1989年10月1日
④2016年9月21日

編集後記



▽第二号(通巻96号)は地区ガバナール公式訪問、YCEこんびらサマリーキャンプ、各クラブの周年記念大会、ライオンズクエストワークショップ等の記事を掲載いたしました。

▽サマリーキャンプは地元の高中生、キャビネットの役員等が多数参加され、中身の濃い、さまざまな行事が実施され、YCE生と参加者などが次第に打ち解けていく様子が伺えます。関係者の皆さまお疲れさまでした。

▽阿波池田LC所属、井本仁久さんの特別寄稿「四国遍路に魅せられて」は同氏の多年にわたる遍路みちの研究成果が凝縮された圧巻の読み物です。八十八ヶ寺のそれぞれの寺院名、その配

置と順路には弘法大師の明確な意図があると説かれる。また、八十八ヶ寺と高野山から伊勢神宮までも俯瞰した仮設には人智を超えた壮大なロマンを感じます。また、高松西LCの平賀将則様、ご遠方よりキャビネット事務局まで玉稿をご持参いただきありがとうございます。

▽表紙の写真はダイヤモンド讃岐富士。朝日を背にした讃岐富士は幻想的で見ると飽きさせません。標高は422メートルとやや小ぶりですが、ダイヤモンド現象が見られる4月中旬と8月下旬には県内外から多くの写真愛好家や鑑賞者が訪れます。

▽来年も皆さまにとって、またライオンズにとって素晴らしい年であることをお祈り申し上げます。

(地区誌編集委員会 馬場 史郎)

新しく地区誌編集委員に
任命させていただきました



5R2Z
和気 敬一
(多度津)

新しく地区一丁特別委員に
任命させていただきました



3R1Z
大氣 新平
(宇和)

【地区年次大会副委員長】

5R2Z
小野 貴史
(善通寺)

【地区年次大会運営委員】

5R2Z
内田 等
(善通寺)

地区ガバナール 真鍋 隆より



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

第63回地区年次大会

《こんぴら大会》



記念ゴルフ大会・前夜祭（日韓親善国際交流のタベ）

2017年4月8日土

記念ゴルフ大会：満濃ヒルズカントリークラブ
エリエールゴルフクラブ

前 夜 祭：オークラホテル丸亀

式 典

2017年4月9日日

丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス



We Serve

2016～2017年 ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 こんぴらキャビネット事務局

〒766-0004

香川県仲多度郡琴平町榎井869-5

琴平町商工会館1F

TEL 0877-89-3360

FAX 0877-89-3361

E-mail: konpira@lci336a.org

第96号 No.2

発 行 日／平成28年12月1日

発 行 所／336-A地区

こんぴらキャビネット事務局

発 行 人／真鍋 隆

企画編集／地区誌編集委員会

印 刷／株式会社弘栄社

四国の島ベストショット

鹿島海岸の奇岩



愛媛県松山市北条地区にある鹿島(カシマ)、波が作り出した石門が有名。